

平成26年3月25日

立川市議会

議長 守 重 夏 樹 殿

立川市議会 立川まちづくり特別委員会

委員長 中 山 ひと美

行政視察報告

このことについて、下記のとおり報告いたします。

記

1 視察月日

平成26年1月27日（月）から平成26年1月28日（火）

の1泊2日

2 視察地及び視察事項

視察都市名	視 察 事 項
兵庫県神戸市	旭通4丁目地区第一種市街地再開発事業について
大阪府大阪市	大阪駅北口再開発について

3 視察の概要及び所感

別紙のとおり

兵庫県神戸市視察

「旭通4丁目地区第一種市街地再開発事業」について

1. 視察先

視察日 : 平成26年1月27日 (月)

場所 : 神戸市役所

対応者 : 神戸市 市街地整備課再開発係長 松村 佳樹 氏
神戸市 市街地整備課 藤谷 修司 氏

2. 視察項目

旭通4丁目地区第一種市街地再開発事業

3. 視察参加者

中山ひと美、佐藤寿宏、田中清勝、梅田春生、上条彰一、岩元喜代子
高口靖彦

4. 視察内容

兵庫県神戸市は、県東南部に位置し、六甲山系によって南北に二分される。総面積は約552km²、人口約150万人、政令市。

はじめに、神戸市役所内で旭通4丁目地区第一種市街地再開発事業の説明を受けた。本地域は、三ノ宮駅東側直近に位置している。戦後の歴史の中で、木造家屋が密集していた。

昭和50年に「三宮東地区再開発基本計画（サンシティ計画）」として位置づけられ、土地区画整理事業による道路、公園等の都市基盤整備が図られた。しかしながら、数度にわたる火災の発生、80年代のバブル経済崩壊、大震災等により再開発への取り組みが挫折している。

その後、平成19年になり都市計画決定、21年に旭通4丁目地区市街地再開発組合が設立、平成25年3月に”シティタワータウン”として事業が完成する。

総事業費約250億円、住宅棟・商業棟・駐車場棟からなる神戸の核となる次世代の街。住宅棟の「シティタワー神戸三宮」は、地上190m、神戸市最高層54階建、総640戸を誇る。

説明を受けた後、議会メンバーで現地に赴き実地視察した。

5. 視察の感想

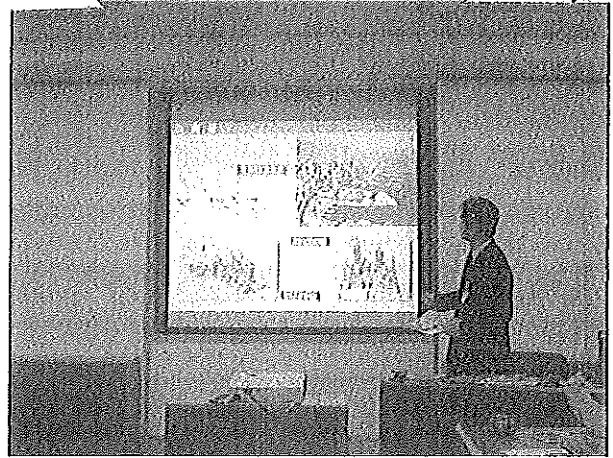
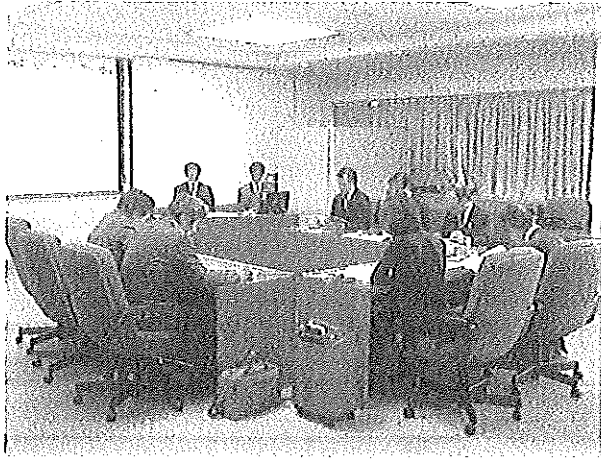
実質的な計画から実に30年以上の時をかけて再開発が行われたことに敬意を表する。

神戸市では他にも同規模の再開発事業があり、同時進行で進められていることにも驚きを感じた。

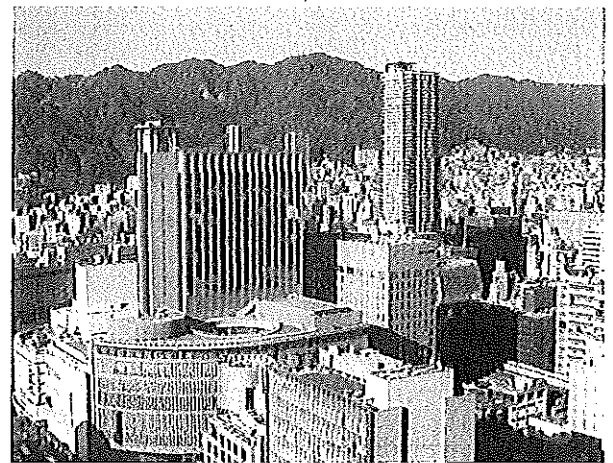
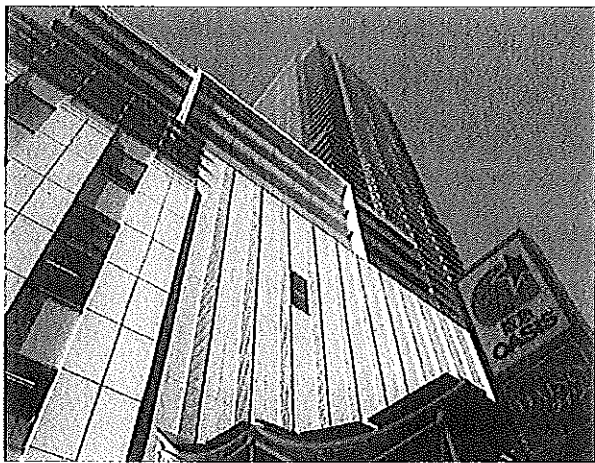
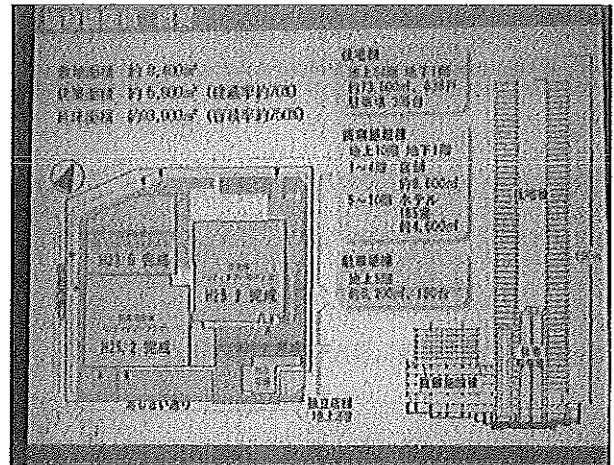
立川市は現在、立川駅西地区第一種市街地再開発事業が進められているが、規模に於いて一回り大きいものと感じる。

今後急速に進む人口減少社会を見据えて、立川駅周辺の街づくりを深慮していかなければならない。

最後に、私たち立川市議会立川まちづくり特別委員会の行政視察を快く受けて頂き、丁寧にご説明をして頂いた皆様に心から感謝を申し上げます。



● 972.12	新築復興土地区画整理事業計画決定
● 980	リソクテ(計画決定)
● 980.7	西岡屋建組合設立
● 980.11	大火災発生(全棟焼亡・平屋・木組合計10戸)
● 11.7.1	阪神・淡路大震災発生
● 1110.8	西岡屋建組合申請書決定
● 1121.1	西岡屋建組合設立認可公告
● 1121.12	権利変換計画認可公告
● 1122.2	西岡屋ビル建築工事着手
● 1123.6	財庫増設完成
● 1126.2	住宅棟・商業増設完成
● 1128.1	西岡屋組合解散認可公告



大阪駅北口再開発について

関西再生のリーディングプロジェクト

うめきたプロジェクトについて視察して参りました。

昭和 62 年国鉄改革に伴い梅田貨物駅用地を国鉄清算事業団へ承継され、平成 11 年都市再生総合整備事業 特定地区に指定されました (約 190ha)

大阪氏より要請を受け、UR 都市機構がコーディネート業務に着手。UR 都市機構は、大阪府、大阪市、鉄道・運輸機構、関経連をはじめとする関西経済界と共に、国際コンセプトコンペの開催・大阪駅北地区まちづくり推進協議会の運営・うめきたまちづくり推進機構への参画などを通じてまちづくり基本計画の策定やナレッジキャピタル構想に計画づくりを支援したそうです。

平成 16 年 7 月大阪市が大阪駅北地区まちづくり基本計画を公表する。

先行開発地区、約 7ha の基本計画、うめきた先行開発区域「グランフロント大阪」12 社の開発業者による民間都市再生タウンマネジメントが展開される。豊かなオープンスペースを活用した「歩いて楽しいまちづくり」実現のため公民連携による持続且つ一体的なまちの運営を推進することにより、グランフロント大阪を中心とした地域の活性化、環境の改善及びコミュニティの形成等に関する事業を展開します。

A ふれあいゾーン B ナレッジゾーン C よそおいゾーン と区

分され開発されました。

今回、立川市のサンサンロードがイベント広場になり「オープンカフェ」の計画があるので大変良い参考になりました。

大阪市は、既存の商店の店先でオープンカフェを開設しており、すべて既存のお店が営業をする方式でした。

残念ながら、2月ということで大変寒く、風も強く吹いており利用者はおりませんでした。まちの風景はパリのシャンゼリゼ通りの様な素敵な景観でした。大阪市の街の活気を強く感じました。

また、うめきた広場でのイベントも大変参考になりました。

立川市のサンサンロードのイベント広場としての活用も今年7月より開始される予定です。

夏には盆踊り大会をしたり、コンサートをしたり、市民の皆さんが楽しめるイベント広場にしたいものです。

開発途中の大阪市でしたが、まだまだこれからたくさんのアイデアの中まちが発展していくと思われます。

公と民が上手に役割を果たす。これがとても上手くいっているのだなあと感じました。良いところは沢山取り入れて、立川市も素敵なまちしていきましょ
う。